

地域情報

スイカ退緑えそ病のマスキングと無病徴葉のウイルスについて

(一社) 熊本県野菜振興協会菊池支部

スイカ退緑えそ病は、難防除微小害虫であるタバココナジラミで媒介されるウイルス病で、生育・収量・品質に悪影響を与える病害である。

また、スイカ退緑えそ病の病原ウイルスであるCCYVは、メロン退緑黄化病やキュウリ退緑黄化病の病原ウイルスでもある。

最近の調査により、スイカ退緑えそ病は高温や低温、強草勢でマスキングされることが明らかになりつつある。

また、スイカの無病徴葉及び無病徴株にもウイルス（CCYV）が存在する場合があることが判明した。

これらのことは、無病徴葉及び無病徴株がCCYVの感染源となる場合があること、今後の調査結果待ちではあるが、収量・品質に影響することが懸念される。



スイカ退緑えそ病



高温でマスキングされたスイカ退緑えそ病